

環境調査結果のお知らせ

平成24年8月3日午前9時から、浦ノ内湾の環境調査を行いましたので、結果をお知らせします。

概況

湾内の環境は、水温25～30℃、塩分26～30、溶存酸素濃度0～10mg/lでした。

透明度は2～3mで、有害種のカレニア・ミキモトイ及びシャットネラ属(アンティカ、マリナ)が多く確認されました。

水温と塩分(表1・2)

湾内の水温は25.34～29.47℃、塩分は26.30～30.34でした。前回調査時(H24.8.1)と比較して、水温は表層及び底層が僅かに低下、2～10m層が0～1℃程度上昇していました。塩分は表層が1上昇していました。

溶存酸素濃度(表3)

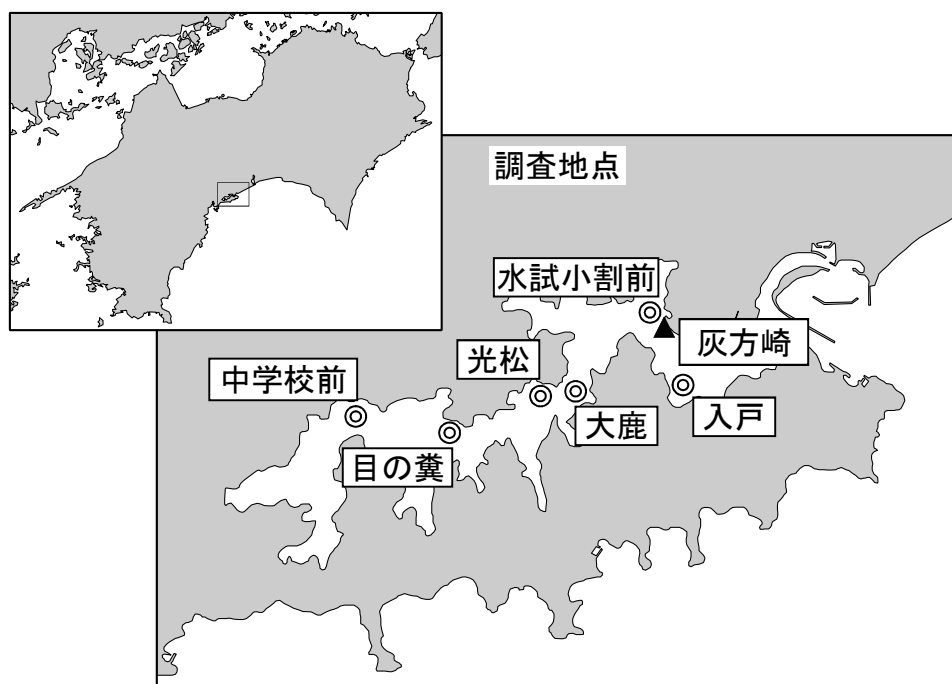
湾内の溶存酸素濃度は0.42～9.71mg/lでした。前回と比べて、表層が2mg/l上昇、底層が1mg/l低下しており、大鹿から湾奥側では10m以深の貧酸素状態(4.3mg/l以下)が続いていました。

プランクトン(表4・5)

透明度は1.8～3.1mでした。

光松～大鹿～灰方崎にかけて濃い着色域が見られました。検鏡の結果、魚類に対して非常に有害なカレニア・ミキモトイが最高4,575cells/ml、シャットネラ属(アンティカ、マリナ)が最高91cells/ml確認され、漁業被害が想定される密度を超えていました。パッチ状になった赤潮は潮流や風の影響で移動することがあり、また、午前中潮色が良くても午後から悪くなることもありますので、今後も餌止めを行うなど十分な対策をお願いします。

海や養殖魚の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲む等して、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。



環境調査結果表(水温・塩分・プランクトン等)

表1 水温(°C)

調査地点	中学校前	目の糞	光松	大鹿	水試小割前	入戸	漁場平均 ※	前回調査(H24.8.1)	
								漁場平均	前回との差 今回-前回
0m	29.29	29.47	29.22	29.17	28.71	28.38	29.29	29.41	▲ 0.12
2m	28.44	28.34	28.92	28.58	28.63	28.31	28.61	27.88	0.74
5m	27.32	27.18	27.95	27.96	27.94	28.12	27.70	26.95	0.75
10m	25.50	26.81	27.07	27.01	-	27.88	26.96	26.77	0.19
B-1m	25.34	26.24	26.56	26.64	27.63	27.84	26.48	26.73	▲ 0.25

表2 塩分

調査地点	中学校前	目の糞	光松	大鹿	水試小割前	入戸	漁場平均 ※	前回調査(H24.8.1)	
								漁場平均	前回との差 今回-前回
0m	26.30	26.69	27.01	27.40	28.64	29.10	27.03	26.13	0.90
2m	27.40	27.98	28.48	28.69	28.76	29.13	28.38	28.29	0.09
5m	29.35	29.16	29.49	29.49	29.56	29.31	29.38	29.48	▲ 0.10
10m	29.29	29.79	29.93	29.97	-	29.77	29.90	29.96	▲ 0.06
B-1m	29.45	30.13	30.32	30.34	30.26	29.84	30.26	30.50	▲ 0.24

表3 酸素濃度(mg/l)

調査地点	中学校前	目の糞	光松	大鹿	水試小割前	入戸	漁場平均 ※	前回調査(H24.8.1)	
								漁場平均	前回との差 今回-前回
0m	7.68	8.11	8.94	9.71	8.70	7.42	8.92	6.82	2.10
2m	6.47	8.45	9.16	8.12	8.56	7.35	8.58	9.06	▲ 0.49
5m	3.81	3.59	5.36	5.24	6.05	6.82	4.73	3.99	0.74
10m	0.54	2.66	3.15	3.17	-	6.33	2.99	3.55	▲ 0.56
B-1m	0.42	2.36	2.55	2.60	3.04	6.12	2.50	3.86	▲ 1.35

※ 目の糞・光松・大鹿の平均値

表4 水深・透明度(m)

調査地点	中学校前	目の糞	光松	大鹿	水試小割前	入戸
水深	13.1	16.4	18.2	17.6	10.4	12.5
透明度	1.9	2.5	1.8	2.0	2.9	3.1
前回透明度	2.2	2.1	1.6	1.8	2.7	2.3

表5 プランクトン(cells/ml)

		カレニア・ ミキモトイ	シャットネラ属 (アンティカ、 マリナ)	コクロディニウム・ ポリクリコイデス	ジャイロディニウム・ ドミナンス	ケイ藻類
中学校前	0m	990	0	0	1	1,430
	2m	386	21	2	1	1,160
	5m	14	91	0	3	1,070
目の糞	0m	375	0	0	1	1,190
	2m	257	45	0	1	1,180
	5m	30	61	0	4	720
光松	0m	1,510	0	0	0	950
	2m	4,575	6	0	0	1,260
	5m	39	27	0	1	350
大鹿	0m	2,670	0	0	0	1,050
	2m	3,090	26	0	0	1,010
	5m	66	13	0	0	610
水試小割前	0m	15	1	0	1	970
	2m	108	3	0	2	990
	5m	412	11	0	1	530
灰方崎	0m	3,720	8	0	0	660
	2m	2,890	16	0	0	1,060
	5m	513	48	0	0	840
入戸	0m	339	4	0	1	950
	2m	409	6	0	0	840
	5m	98	3	0	1	540

瀬戸内各府県の赤潮警報発令基準
(漁業被害が想定される細胞密度)
●シャットネラ属(マリナ、アンティカ)
10~100cells/ml
●カレニア・ミキモトイ
500~5,000cells/ml